

保健師からの

No.18



特定健診の受診率について

今年度も昨年と同様に特定健診を実施しています。

今回4月～8月に実施した国民健康保険被保険者の集団健診の受診者数および受診率をお知らせいたします。

〈表1〉のように現時点での集団健診の受診率は58・0％で昨年

度の受診率60・5％よりも2・5％減となっています。

年齢別にみると、40～44歳の受診率が低く、若い頃からの生活習慣予防が課題です。

地区別の受診率をみると、〈表2〉のとおりです。最も受診率が高い地区は緑町で、次に西岡町という結果になりました。

＜表1＞

年齢	対象者数	受診者数	受診率
40～44	94	29	30.9
45～49	87	50	57.5
50～54	115	54	47.0
55～59	168	87	51.8
60～64	218	129	59.2
65～69	205	120	58.5
70～74	198	160	80.8
合計	1,085	629	58.0

＜表2＞

地区名	対象者数	受診者数	受診率
西町	79	46	58.2
緑町	121	79	65.3
仲町	115	69	60.0
元町	108	64	59.3
屯田町	83	45	54.2
旭町	80	51	63.8
南桜町	66	34	51.5
西岡町	91	59	64.8
西原町	139	72	51.8
東町	133	70	52.6
藤本町	70	40	57.1
総計	1,085	629	58.0

特定健診Q&A

Q. なぜ特定健診の受診が必要なの？

A. 自覚症状がないまま、静かに進行していく生活習慣病の発症を防ぐには、健診による健康管理が大切です。毎年受診していれば、年ごとの数値変化を確認して改善していくことも可能です。年に1度は必ず健診を受けましょう。

Q. 仕事が忙しく、なかなか健診を受ける時間がありません。

A. 健診は年に1回、ほんの数時間で済みます。健診の日は、自分の健康状態を知る絶好の機会と考えてみましょう。

Q. 元氣だし、やせているから受けてなくても大丈夫でしょう？

A. 元氣だし、やせているからと言って健康とは限りません。生活習慣病は自覚症状が少なく進みます。放っておけば、その先には命にかかわる病気が待ち構えています。そうならないために、年に1度の受診と健康状態の確認が要なのです。



11月29日(火)に総合健診があります。今年度最後の集団健診です。今年度まだ特定健診を受診していない方は、ぜひ総合健診を受診してください。詳細は回覧を見てください。

ふれあい健康センター 保健師